

自己資本の構成に関する開示事項
平成30年3月末

平成30年5月14日
株式会社 池田泉州ホールディングス

(単位:百万円、%)

項目		経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	219,278	
うち、資本金及び資本剰余金の額	145,380	
うち、利益剰余金の額	78,153	
うち、自己株式の額(△)	1,476	
うち、社外流出予定額(△)	2,779	
うち、上記以外に該当するものの額	-	
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	1,084	
うち、為替換算調整勘定	-	
うち、退職給付に係るものの額	1,084	
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	122	
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	28	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	5,010	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	273	
うち、適格引当金コア資本算入額	4,736	
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	15,000	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	20,960	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	1,637	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	263,121	
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	2,984	694
うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額	205	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	2,778	694
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	3,170	792
適格引当金不足額	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	181	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-
退職給付に係る資産の額	6,172	1,543
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	-	-
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	-	-
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	12,509	
自己資本		
自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)	250,612	
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	1,742,889	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計	3,030	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)	694	
うち、繰延税金資産	792	
うち、退職給付に係る資産	1,543	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	-	
うち、上記以外に該当するものの額	-	
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	-	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	110,849	
信用リスク・アセット調整額	338,469	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-	
リスク・アセットの額の合計額 (ニ)	2,192,207	
連結自己資本比率		
連結自己資本比率 ((ハ)÷(ニ))	11.43%	

自己資本の構成に関する開示事項
平成30年3月末

平成30年5月14日
株式会社 池田泉州銀行

【連結】

(単位:百万円、%)

項目		経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	231,562	
うち、資本金及び資本剰余金の額	165,599	
うち、利益剰余金の額	68,798	
うち、自己株式の額(△)	-	
うち、社外流出予定額(△)	2,836	
うち、上記以外に該当するものの額	-	
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	1,084	
うち、為替換算調整勘定	-	
うち、退職給付に係るものの額	1,084	
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	-	
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	-	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	5,010	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	273	
うち、適格引当金コア資本算入額	4,736	
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	20,960	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	95	
コア資本に係る基礎項目の額	(イ) 258,712	
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	2,834	680
うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額	110	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	2,723	680
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	3,160	790
適格引当金不足額	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	181	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-
退職給付に係る資産の額	6,172	1,543
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	-	-
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	-	-
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-
コア資本に係る調整項目の額	(ロ) 12,348	
自己資本		
自己資本の額((イ)-(ロ))	(ハ) 246,363	
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	1,741,019	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計	3,014	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)	680	
うち、繰延税金資産	790	
うち、退職給付に係る資産	1,543	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	-	
うち、上記以外に該当するものの額	-	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	107,845	
信用リスク・アセット調整額	339,856	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-	
リスク・アセットの額の合計額	(ニ) 2,188,720	
連結自己資本比率		
連結自己資本比率 ((ハ) / (ニ))	11.25%	

自己資本の構成に関する開示事項
平成30年3月末

平成30年5月14日
株式会社 池田泉州銀行

【単体】

(単位:百万円、%)

項目		経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	217,520	
うち、資本金及び資本剰余金の額	165,570	
うち、利益剰余金の額	54,749	
うち、自己株式の額(△)	-	
うち、社外流出予定額(△)	2,800	
うち、上記以外に該当するものの額	-	
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	-	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,745	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	-	
うち、適格引当金コア資本算入額	1,745	
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	20,000	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	
コア資本に係る基礎項目の額	(イ) 239,265	
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	2,877	719
うち、のれんに係るものの額	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	2,877	719
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	1,842	460
適格引当金不足額	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	181	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-
前払年金費用の額	5,258	1,314
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	-	-
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	-	-
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-
コア資本に係る調整項目の額	(ロ) 10,159	
自己資本		
自己資本の額((イ)-(ロ))	(ハ) 229,105	
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	1,775,074	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計	2,494	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)	719	
うち、繰延税金資産	460	
うち、前払年金費用	1,314	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	-	
うち、上記以外に該当するものの額	-	
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	-	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	97,694	
信用リスク・アセット調整額	300,675	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-	
リスク・アセット等の額の合計額	(ニ) 2,173,444	
自己資本比率		
自己資本比率 ((ハ)÷(ニ))	10.54%	